



現在の岡山城「不明門」(1966年(昭和41年)に再建された)

ここはどこ?

さて、この対面式が行われたのはどこであろうか?

実は、現在の岡山城「不明門」の西側である。門に対して左側石垣の特徴ある巨石(★)と門の奥に見える本丸に繋がる階段を2つの写真で見比べて頂きたい。

残念ながら、左頁の写真で先生方が立っておられる石垣は現在、土に埋もれていて見ることはできない。わずかに本丸石垣に接続する部分に「なごり」を見ることができる(○部分)。岡山城を訪れる際には是非、不明門の前で75年前にここで行われた式典と学生の心情を想像してみられてはいかがだろうか。本年、この広場の一角に同窓会の創立150周年記念事業の一つとして、母校がかつて岡山城本丸跡にあったことを示す説明板が立てられる予定である(6頁参照)。岡山城を訪れた際には是非ご覧頂きたい。

岡山朝日高校新聞の“辛口”記事

この開校式の様子を岡山朝日高校新聞第3号は下の写真のように報じている。女子生徒は中山下校舎(後述)から目安橋を渡って、きちんと列をなしてこの場所に来たことがわかる。「女子はおとなしすぎて元気がない」だの「男子は騒がしくて先が思いやられる」だのと辛口のインタビュー記事を書いているのが面白い。



『岡山朝日高校新聞』第3号より(昭和24.11.23付)

確かに左頁の写真を拡大してよく見てみると、男子は総じてニヤニヤしている一方、前列の女子は恥ずかしそうにうつむいているように見える。

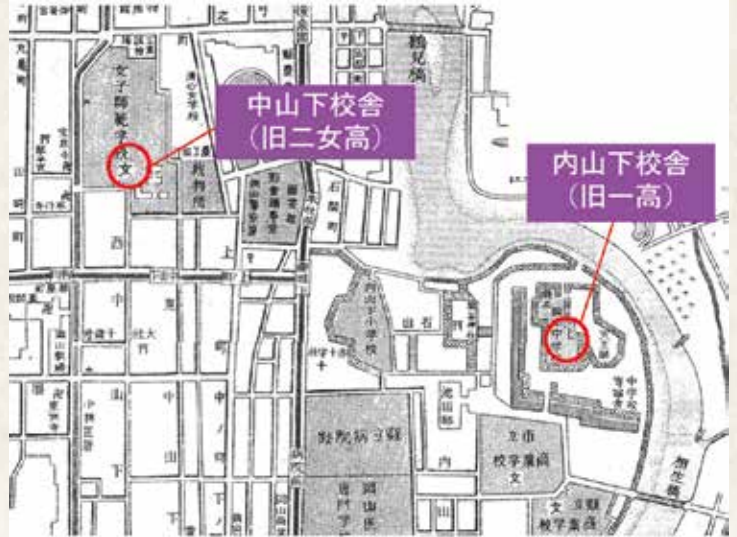


「中山下校舎」はどこにあった?

ところで、当時女子生徒がいた「中山下校舎」はどこにあったのだろうか? 現在の「中山下」という地名からはちょっと想像できないが、現岡山中央中学校の場所(現在の地名は「蕃山町」)にあった。

中山下校舎の敷地の一部で現在「岡山藩学校跡」として整備されている区画には二女をはじめこの地にゆかりのある多くの学校の記念碑が立つ。ここにも同窓会の創立150周年記念事業として、説明板が立てられる予定である。

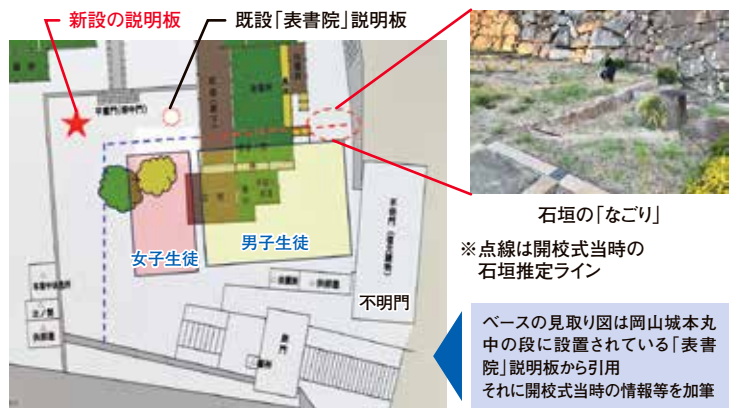
岡山城内の説明板とともに是非訪れて頂きたい(6頁参照)



大正10年頃の市街図(朝日開校当時のものではありません)



開校式が行われた場所(図は昭和18年の一中校図)



石垣の「なごり」

※点線は開校式当時の石垣推定ライン

ベースの見取り図は岡山城本丸中の段に設置されている「表書院」説明板から引用
それに開校式当時の情報等を加筆